

## 事業実績書

事業名	食農体験プロジェクト	
場所	一般社団法人食育スタジオ Dream (沼津市大岡)	
期間	令和3年4月7日 / ~ 令和4年1月28日 /	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	4月1日	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 土壌分析・土壌作り・農業体験参加者募集開始 (農場管理1名、事務局1名)
	4月16日	
	5月1日	◆農業体験夏野菜チーム夏野菜の植え付け (参加家族9組、農業指導1名、補助スタッフ3名、配布資料作成受付1名) 植え付け後の水やり追肥の指導、苗の生育状況の確認 (農場管理1名/月) グループLINEを通じ苗の成長写真の送信、相談対応 (事務局1名/月) 圃場管理、害虫駆除対策補助 (スタッフ1名) 6/11・6/18・8/12・8/29
	5月3日	
	~	
	8月31日	
	9月1日	土壌分析・土壌作り・農業体験参加者募集開始 (農場管理1名、事務局1名) 土壌準備 (スタッフ2名) 9/10
	9月16日	
	9月11日	◆農業体験夏野菜チーム冬野菜の植え付け (参加家族18組、農業指導1名、補助スタッフ3名、配布資料作成受付1名) 植え付け後の水やり追肥の指導、苗の生育状況の確認 (農場管理1名/月) グループLINEを通じ苗の成長写真の送信、相談対応 (事務局1名/月) 圃場管理、害虫駆除対策補助 (スタッフ2名) 10/11
	9月12日	
~		
1月31日	◆収穫体験 野菜の収穫状況に合わせて随時SNS等で参加者募集 (対応スタッフ1名・募集、予約受付等スタッフ1名) 開催日: 6/1・6/8・6/13・6/19・7/10・7/11・7/31・8/1・10/16 (全10回) 参加人数: 42名 (15家族)	
	◆クッキング講座 SNS等で参加者を募集し、収穫可能な野菜を使用し随時開催 (栄養士1名) 開催日: 6/29・7/2・8/30・9/19・9/20・9/23・9/25・9/26・10/2・10/4・10/10・10/18・11/15・11/23・12/4・12/5 (全21回) 参加人数: 53名 (25組)	

事業効果	<p>5月の夏野菜チーム定植後すぐに強風で苗が折れたり、枯れてしまい、その様子をスタッフが撮影して参加者へ送り、再度苗を植え替えた参加者もいた。暑くなり伸びた葉が虫に食べられたり、鳥につつかれたり、また油断すると圃場は雑草だらけになってしまい、除草や水やりに参加者は熱心に通って来ていた。収穫期は猛暑が続く、8月圃場の終了時期は雨天続きで、それぞれの圃場の片付けは大変だった。</p> <p>参加者は、予想以上に野菜栽培が大変でうんざりされ、継続を希望されることはないだろうとスタッフは予想していたが、参加者全員が冬野菜の継続を希望したため、新規の参加者9組を含め、圃場の区画を18に増やし、9月に冬野菜チームをスタートした。定植後高温が続いたことにより、アブラムシが大発生し、発芽した種や定植した苗が食べられてしまい、種蒔きや定植をやり直ししなければならなかったり、害虫駆除に苦労したが、野菜の成長も早く、10月初旬には収穫が始まった。追肥や収穫のタイミングが難しいとの声があり、スタッフが圃場の見回りをしてその都度参加者へLINEを通し声掛けをした。同じ野菜でも圃場の場所により収穫時期や収穫量の違いがあった。</p> <p>グループLINEでは、栽培中の剪定法や目かきの時期などの質問が投稿され、その都度対処法を紹介した。収穫期には参加者の野菜を収穫する楽しさや、収穫仕立ての美味しさに感動する声や、子どもが苦手だった野菜を食べられるようになったり、食卓で収穫した野菜を囲み家族の会話が弾む様子が次々とアップされた。</p> <p>コロナ禍で旅行やイベントが制限される中、畑仕事で無心になって体を動かすことができ嬉しいという声や、参加者が圃場へ通って来ることを楽しみにしている様子を見ることができ、スタッフの励みにもなった。</p> <p>収穫だけの農業体験でもじゅうぶん楽しむことができるが、種蒔きや定植をした野菜を育て、収穫して家族で味わうことに、参加者全員が感動している様子を見ることができ、この事業の意義を感じた。</p> <p>参加者アンケートより</p> <p>Q. 沼津産野菜の栽培について新たな学びがあった→全員○</p> <p>Q. 調理の楽しさを感じることができた→全員○</p>
自己評価	<p>実際に圃場で野菜栽培をし、収穫できたことを、予想以上に参加者が感動し、子どもたちの嬉しそうな声や、笑顔を見ることができた。</p> <p>コロナの感染状況に影響されることなく、野外での事業開催は可能であることを実感でき、農業体験は大成功だったと思う。</p> <p>収穫体験とクッキング講座は、夏野菜は順調だったが、秋以降は昨年に比べ自家農場での野菜栽培が上手いかず、予想以上に収穫野菜の種類が少なかつたため、予定より開催回数が減ってしまい今後の課題となった。</p>
今後の活動予定	<p>参加者からの要望があり、令和4年度も引き続き、食農体験として圃場の貸し出し、栽培のアドバイス、収穫体験、クッキング講座開催を予定している。</p>